

# HBcAb

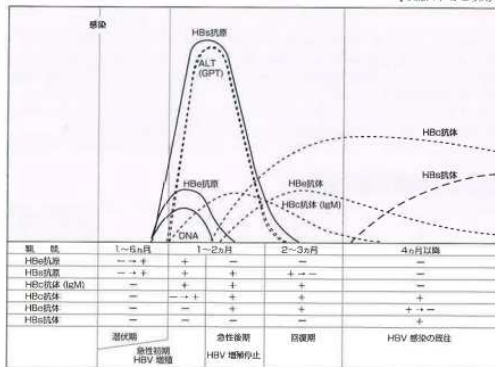
## B型肝炎ウイルスコア抗体キット

HBc抗体は、HBc抗原（B型肝炎ウイルスのコア部分を形成する抗原）に対する抗体で、感染の比較的早期から血中に出現し、長期間にわたり血中に存在します。一般に、低抗体価陽性ではほとんどの例が過去の感染を意味し、HBs抗体が陽性を示します。また、高抗体価陽性はHBV感染状態を意味し、ほとんどの場合HBs抗原が陽性を示します。

なお、HBV感染状態であってもHBs抗原の産生量が少なくHBs抗原が検出されない場合もありますので、HBs抗原陰性であってもHBc抗体陽性であれば、HBV感染の可能性があります。

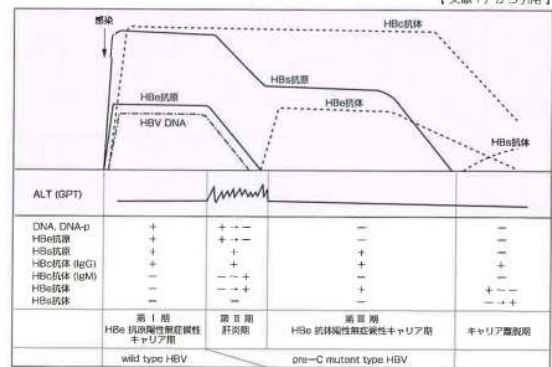
B型肝炎急性肝炎（一過性肝炎）時のウイルスマーカーの推移

【文献1】から引用】



B型肝炎ウイルス (HBV) キャリアの自然経過時のHBVマーカーの推移

【文献1】から引用】



※一般に、200倍希釈検体を測定して90%以上のインヒビション% (INH%) を示した場合には、高抗体価陽性と判断されます<sup>2)</sup>。

- 1) 日本消化器病学会 肝機能研究班：肝疾患における肝炎ウイルスマーカーの選択基準（3版）、日本消化器病学会誌, 98, 206-213 (2001)
- 2) 小坂 他、HBV感染と予防対策、医学のあゆみ、151, 881-885 (1989)

仕様

試薬構成

免疫反応試薬 Eテスト「TOSOH」II (HBcAb) (100テスト/箱)

標準品 Eテスト「TOSOH」II (HBcAb) 標準品セット (2濃度、各2本/箱)

検体希釈液 Eテスト「TOSOH」II (HBcAb) 検体希釈液 (4mL x 4本/箱)

対象検体種 血清、ヘパリン血漿、クエン酸血漿

測定時間 免疫反応時間 10分 (1ステップ競合法) 結果報告 約20分

測定範囲 (INH%で表示)